

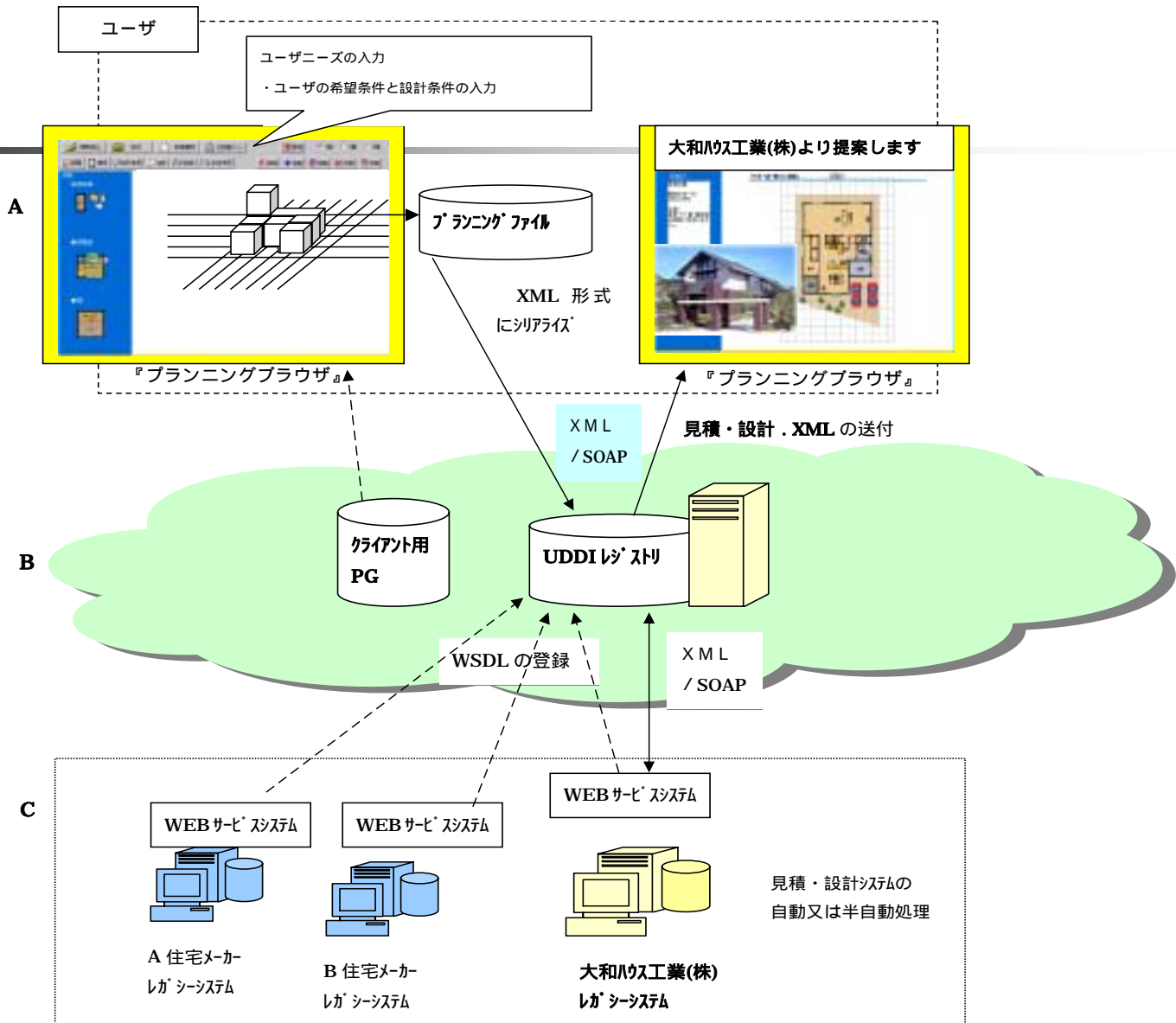
平成14年度未踏ソフトウェア創造事業

「XML WEBサービスを利用した空間モデル
による住宅設計・見積システム」



浅野 憲秀 ・ 大路 恭進

概要図





開発成果の特徴(1)

「プランニングブラウザ」上での図形の入力 / 表示には必ず同時に
三次元表示を行う

- 「スペース・オブジェクト」の概念に基づき空間を基本としているため、例えば、階段室を1階で設定すると、2階には自動的に設定されている
- 部屋空間に対して平面的な連続性のみならず、立体的な連続性も同時に確保できるので、イメージの把握が容易である



開発成果の特徴(2)

「プランニングブラウザ」上での入力に関してはガイダンス機能を設けている

- 設計論理上不整合な入力を防止することができる
- 住宅建設にかかわる技術上の、法律上等の基礎知識を提供することができる